

令和 5 年 12 月 12 日

国立駅南口駅前広場基本設計業務委託プロポーザル 事業者の選定結果について

国立市では、国立駅南口駅前広場基本設計業務を委託する事業者について、公募型プロポーザルを実施しました。公募の結果、5 者から応募があり、厳正な審査を行った結果、事業者を下記のとおり選定しました。

1. 業務件名

国立駅南口駅前広場基本設計業務委託

2. 業務等概要

国立市では、駅周辺の良い街並みや住環境の保全に配慮しながら、平成 21 年に策定した「国立駅周辺まちづくり基本計画」に基づき、旧国立駅舎再築などの国立駅周辺整備を行ってきました。また、令和 4 年度に「旧国立駅舎東西広場・円形公園整備基本方針」を定め、その後、デザインアイデアコンペを実施して、広場のデザインにつながるアイデアを広く募集しました。

整備基本方針やデザインアイデアコンペの結果を踏まえ、市民の意見や地域の意向を聞きながら、国立駅南口駅前広場が、これまでの歴史や理念を継承し、旧国立駅舎とともに「くにたち」の顔となる広場空間となることを目指して基本設計を行います。

3. 契約候補者名（グループ名）

- (1) 契約候補者：PCKK・EAU・石塚・NOUSAKU・バイオフォルム・WAKU 設計共同体
- (2) 次 点 者：設計領域・大日本ダイヤ・都市環境研究所・GA ヤマザキ共同企業体

4. 参加事業者名（グループ名）

申込順	グループ名
1	アネトス・カワグチテイ・都市研 設計共同体
2	設計領域・大日本ダイヤ・都市環境研究所・GA ヤマザキ共同企業体
3	株式会社国際開発コンサルタンツ・合同会社みちくさ・株式会社千田建築設計・株式会社 woodsmart 設計共同体
4	国立駅南口駅前広場基本設計業務委託 中央コンサルタンツ・E-DESIGN・畑友洋建築設計事務所設計共同体
5	PCKK・EAU・石塚・NOUSAKU・バイオフォルム・WAKU 設計共同体

5. 選定方法

(1) の一次審査を通過した事業者（本件においては参加申込事業者が5者以内であったため、全参加申込事業者）を対象に(2)の二次審査を実施し、事業者を選定しました。なお、評価点および合計点については、別紙のとおりでした。

(1) 一次審査（書類審査）

技術提案書等による書類審査を行いました。

(2) 二次審査（審査会議）

技術提案内容をより深く理解するため、プレゼンテーションおよびヒアリングを実施しました。

(3) 審査委員会

国立駅南口駅前広場基本設計業務委託プロポーザル審査基準表（別紙2）に基づき審査を行いました。

〈委員構成〉

委員長 都市整備部長

副委員長 基盤整備担当部長

委員 建築営繕課長、環境政策課長、道路交通課長、国立駅周辺整備課長

(4) 外部有識者

審査委員会は、審査にあたり以下の有識者4名に意見を聴きました。

氏名・所属等	専門分野
植田 瑞昌 日本女子大学家政学部住居学科 助教	ユニバーサルデザイン
堂免 隆浩 一橋大学大学院社会学研究科 教授	都市政策
二井 昭佳 国土舘大学理工学部まちづくり学系 教授	景観デザイン
三友 奈々 日本大学理工学部土木工学科 助教	プレイスメイキング

（五十音順）

6. 選定経過

項目	日時
実施要領公表	令和5年8月23日（水）
質問受付締切	令和5年9月15日（金）17時
質問回答	令和5年9月25日（月）
参加申込書受付締切	令和5年10月4日（水）17時
参加資格審査結果通知書送付	令和5年10月6日（金）
技術提案書等提出締切	令和5年11月2日（木）17時
第一次審査（書類審査）結果通知	令和5年11月6日（月）
第二次審査（プレゼンテーション）	令和5年11月29日（水）
第二次審査結果通知	令和5年12月11日（月）

7. 選定理由（講評）

契約候補者の提案は、これまでの国立の歴史や経緯を踏まえたコンセプトを明確に反映したデザインやプログラムであったことを評価しました。

業務体制については、各部門について実績を有する専門的な事業者が業務を担当する形であり、多様な技術者が揃っていることを高く評価しました。

また、全体として柔らかく広がりのある空間が提案されており、沿道建物と一体となった広場づくりや、周辺のまちへのひろがりを産みやすい優れたデザインでした。雨水浸透やヒートアイランドなどの環境対策に加え、樹木や花壇を通じた生物多様性やコミュニティの創出に関わる提案がなされている点も評価しました。

交通ロータリー形状や多面的なバスキャノピーのデザインなどには、歩行者空間や円形公園の緑地の確保のための工夫がみられました。歩行者空間が動線と滞留場所が共存した配置やデザインである点や、東西広場のフレキシブルな利用可能性について検討されている点も評価しました。

一方で、植樹については、落ち葉の清掃、枝の剪定、老木の伐採、樹木が根を張ることによる道路の凹凸の修理などの費用がかさむ可能性があること、落ち葉や木の根が移動円滑化の妨げになる可能性があることなど、今後十分な検討を要することを確認しました。また、ユニバーサルデザインの観点から懸念がある点については、当事者とプロセスをともにし、慎重に検討を進めることを確認しました。

市民ワークショップ、有識者会議、社会実験の連動性もわかりやすく、段階的な運営体制づくりが丁寧に検討されていました。ヒアリングおよび質疑回答においても、提案に対する熱意や柔軟な姿勢があらわれており、今後パートナーとして事業を推進する上での信頼感を与えるものでした。

以上のことから、総合的な判断のもと最も優れた提案であるとし、契約候補者として特定しました。

8. 今後のスケジュール（予定）

- （１）基本設計 令和 5、6 年度
- （２）実施設計 令和 7 年度
- （３）工 事 令和 8、9 年度

※今後、設計業務において工事期間を精査していきます

9. 所管課および問合せ先

〒186-8501 東京都国立市富士見台 2-47-1

国立市 都市整備部 国立駅周辺整備課 （担当）外立・中島

電話番号：042-576-2111 （内線）382

E メールアドレス：sec_kuniseibi@city.kunitachi.lg.jp